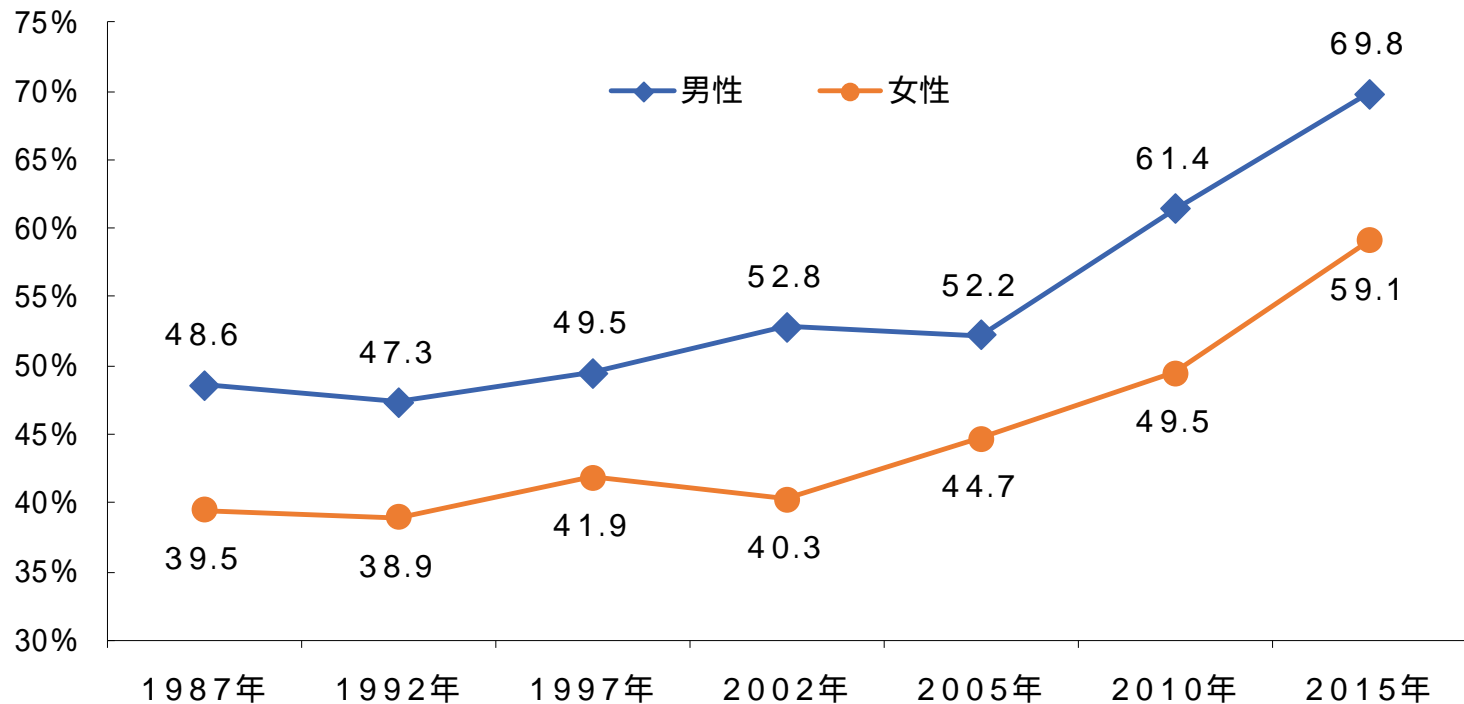


第2章．未婚者の恋愛・結婚状況

ここでは、皆さんが今後かかわることになる未婚者の方たちを取り巻く社会の変化をみた上で、社会とともに変化する結婚に関する意識・行動を理解し、未婚者の方の希望をかなえる結婚支援とは何かを考えていきます。

・18歳から34歳の男性の約7割、女性の約6割は、「交際相手がない」。

交際相手がない割合の推移（18～34歳男女）

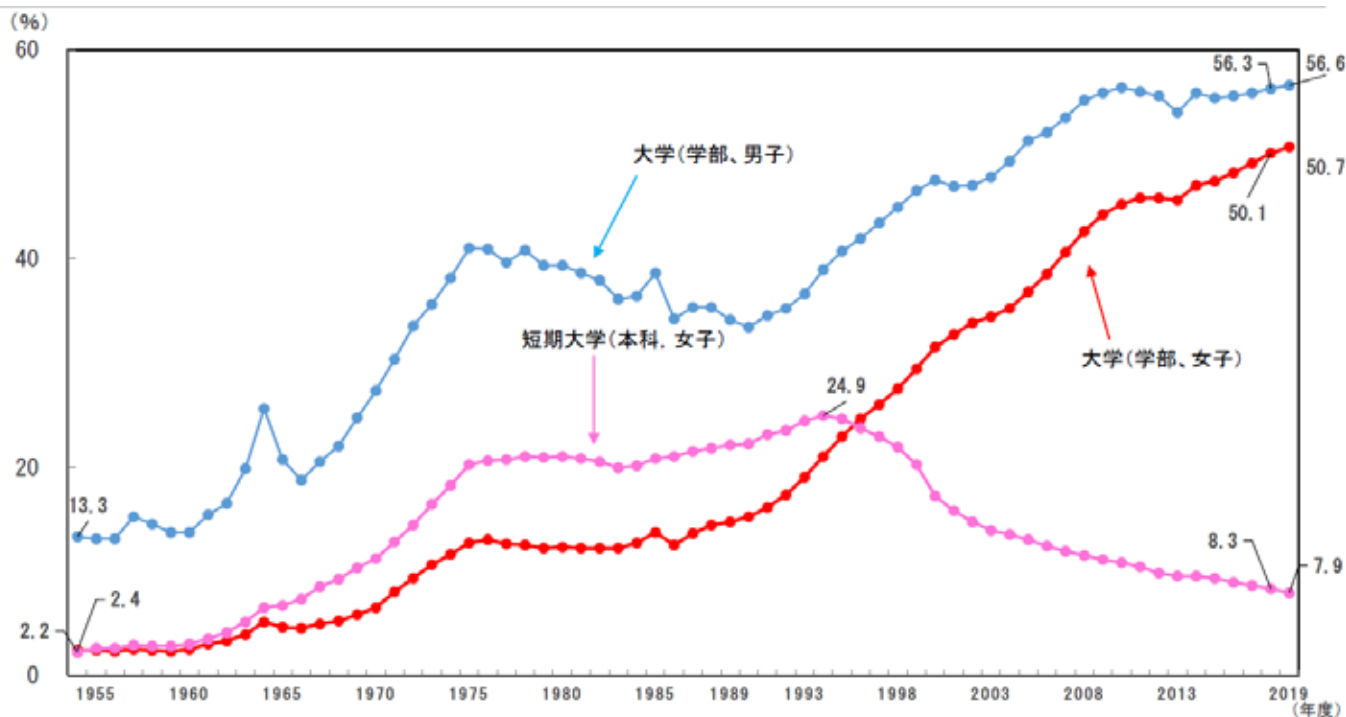


天野馨南子 (2021) 『未婚化する日本』 「日本における18歳から34歳の若い男女の「交際相手がない」割合の推移」 P52

使用データは国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査」(2015年の独身者調査の有効票数は8,752票)より

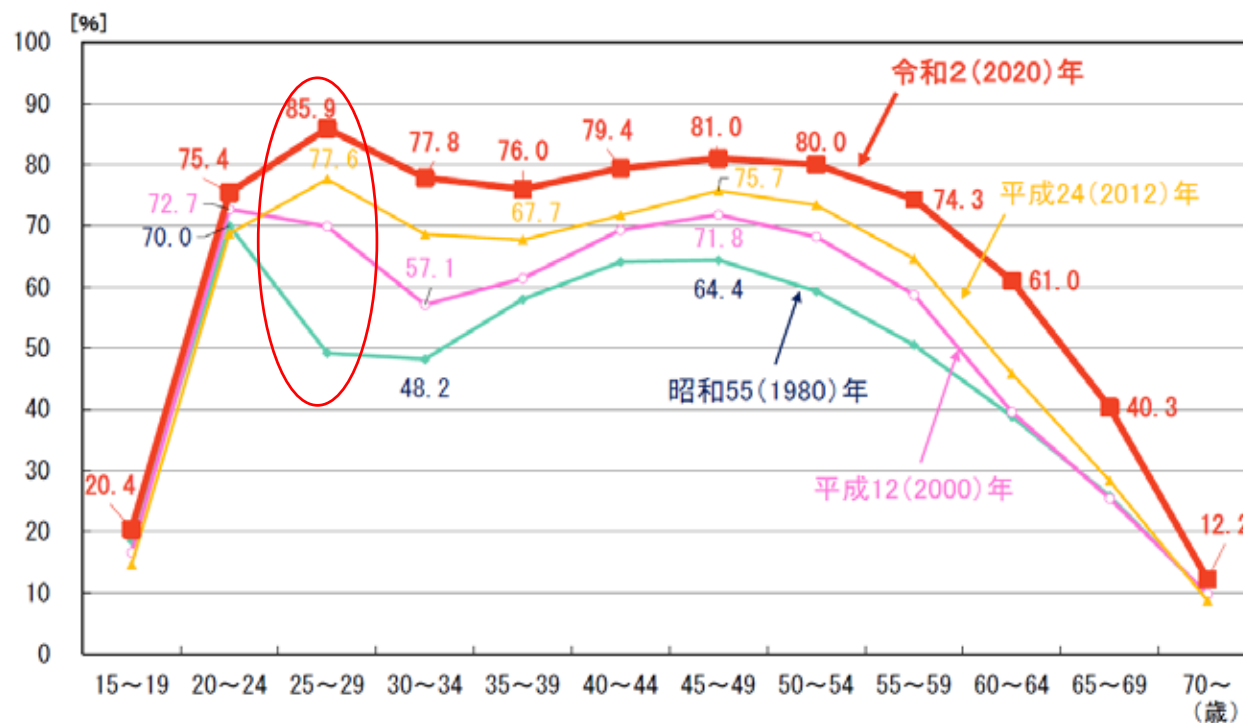
(2) 男女別進学率の推移 ~ 結婚をめぐる社会情勢の変化 ~

- 結婚をめぐる社会情勢は、ここ30年ほどで大きく変化。4年制大学進学率について、男性で57%、女性で51%。男女間の進学率の差が縮小、約半数の割合で「学生時代の延長化」が進む。



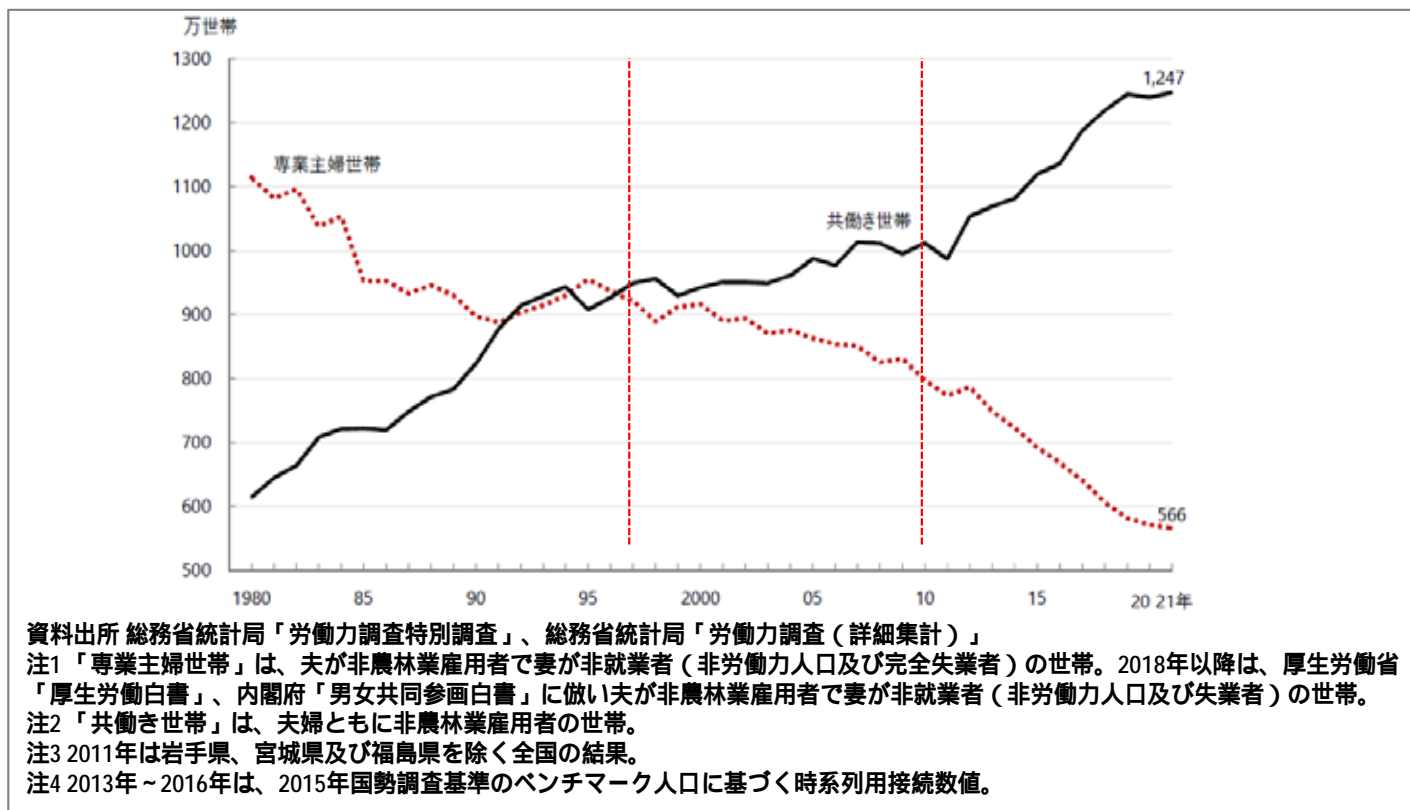
(備考) 1. 文部科学省「学校基本統計」より内閣府男女共同参画局作成。
2. 大学(学部)進学率は、「大学学部入学者数(過年度高卒者等を含む。)/「3年前の中学卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数」×100により算出。ただし、入学者には、大学の通信制への入学者を含まない。

- 25歳～29歳の女性の労働力率は、1980（昭和55）年では、5割を切っていたが、2020（令和2）年では8割を超えている。20歳代後半が社会人としてのキャリア形成の時期と重なるように。



(備考) 1. 総務省「労働力調査(基本集計)」より作成。
2. 労働力率は、「労働力人口(就業者+完全失業者)」/「15歳以上人口」×100。

- 1980（昭和55）年以降、夫婦ともに雇用者の共働き世帯は増加し、1997（平成9）年以降は、共働き世帯が専業主婦世帯を上回っている。
- 2010年以降は、共働き世帯が急激に増えている。男女ともに働きながら家事・育児を担うことが求められる時代に。



これまでは未婚者の意識についてみてきましたが、
ここからは、未婚者の婚活などの**結婚行動**について
見ていきたいと思います。

(5) 恋愛や婚活に受け身になりがち

- ・日本人は恋愛に対して、「相手からアプローチがあれば考える」が4～5割。
「恋愛は面倒」、「自信がない」との回答も一定割合あり。

恋愛に関する考え方

(複数回答) (%)

	2020年							
	日本		フランス		ドイツ		スウェーデン	
	男性 (n=648)	女性 (n=724)	男性 (n=493)	女性 (n=507)	男性 (n=520)	女性 (n=502)	男性 (n=505)	女性 (n=495)
恋愛よりも勉強や仕事を優先したい	14.5	10.5	16.2	14.0	16.5	11.8	14.1	11.7
恋愛よりも趣味を優先したい	22.4	14.5	17.0	9.3	7.9	7.2	10.1	8.3
交際すると相手との結婚を考える	34.0	39.6	17.6	26.2	36.2	40.8	29.1	32.5
いつも恋愛をしていたい	8.8	9.0	21.1	28.0	29.4	30.3	22.6	16.6
気になる相手には自分から積極的にアプローチをする	22.7	16.6	21.9	13.0	41.3	35.1	36.0	32.7
相手からのアプローチがあれば考える	34.6	45.6	11.2	9.7	16.9	17.1	31.7	19.2
恋愛することで人生は豊かになる	43.1	52.2	52.1	55.8	58.1	66.7	87.1	88.1
恋愛は面倒だと感じる	19.1	19.6	2.0	1.0	5.0	5.4	15.6	13.1
恋愛することに自信がない	14.7	13.7	6.1	6.7	6.9	7.0	2.2	1.2
恋愛はしたいがお金がかかる	15.7	7.9	6.9	3.0	10.0	3.6	4.0	3.4